

火をつけた
あなたの責任
最後まで

る く ば ん まどい
六 番 纏

発行者
辰野町消防団
第 6 分 団
発行人
古 村 誠 一



新世紀の幕開け



分団長 古村 誠一

三区の皆様方におかれましては、平素より当分団の活動に対しまして深いご理解とご声援を賜りまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

さて、二十一世紀という新しくも希望に満ちた時代を迎える今年、私達は激動の二十世紀に発生した災いを顧みますに、関東大震災、世界を巻き込む大戦争、伊勢湾台風、近年に至っては、阪神大震災など、人命、財産のみこむ大きな危険が我々の臆測を簡単に越える規模で発生していることを忘れることはできません。その災いを体験しながら、現在の安らぎと平和を残してくれた先人たちの不屈の魂に感謝せざるをえません。

わたしたち第六分団は、先人たちの心を受け継ぎながら、故郷を愛し、地域の人々の安寧な生活を守るため、元の身近な防災機関として、団員一人一人予防消防に つとめ、消防知識・技術の向上を追求し、消防訓練・防災訓練を実施し、もし災害が発生した場合に直ちに活動できる様に日々研鑽を積み重ねてまいる所存であります。

どうか今後とも皆様方の絶大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この二〇〇一年が新世紀の幕開けにふさわしく、また皆様方にとって辛多く、喜びあふれる一年となることをお祈り申し上げます、あいさつとさせていただきます。



鴻ノ田養蚕センター

火災の考察

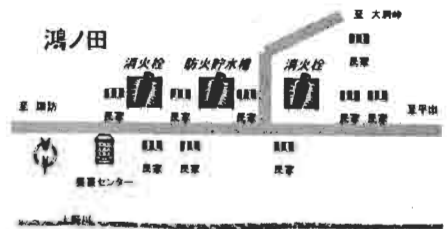
副分団長 村上 稔

八月二十九日に発生した養蚕センターの火災出動について報告したいと思えます。

午後五時三十分暖房用の薪ボイラーより出火、非常出動がかりました。出動隊は、消防署タンク車が現場近くに付け放水、後続隊は順次到着順に常備部、第六・七・八分団でタンク車に中継を行ないました。しかし、大変残念ですが、全焼という結果に終わりました。

なぜ全焼したのか？いくつかの原因をあげたいと思います。ひとつは通報の遅れです。出火時に家人は留守だったと聞いています。次に水利が非常に悪い山間部での火災であったこと、最後に木造であり火のまわりの早いものが多数あったことなどが考えられます。

今回の火災に限らず、火災はちょっとした気の緩みから発生します。一瞬で人命、財産を奪っていきます。我々日本人



は、木と紙の家に住んでいるということを十分理解した上で生活しなければなりません。予防消防に御協力頂き、火災のない防災意識の高い町にしていかなければなりません。

最後に第六分団の状況をお話

したいと思います。現在我が第六分団は、実働人数において危機的状況にあります。新入団員の確保が難しいなか、この寒い景気のため消防活動に時間がさけない団員、長期で国内外へ転動している団員、リストラ、統廃合で生活が安定しないものにも消防団に籍をおいてももらっていません。区民の皆様の中には、消防署があるのに消防団がなぜ必要なのかという考えを持っている方もいるかと思われま

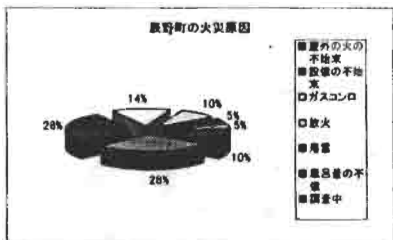
す。消防団がある目的としては、第一に予防消防、次に阪神大震災のような未曾有の大震災がおきた時のためにあると思えます。一般火災にはあまり必要無いかもしれませんが、あくまでも私個人の考えですが、消防団は必要なのです。現在の第六分団をより実戦的な部隊にしてい

予防査察を実施して

班長 古村 幹夫

秋の火災予防運動に先立ち、十一月五日に管内の予防査察を実施しました。予防査察とは、火災を未然に防ぐ目的で、各家庭・事業所を対象に、火気の使用状況、危険物の貯蔵方法の確認等を行ないながら、火災予防を呼びかける活動です。

私の担当した地区では、たき火の実施についてと、風呂釜の状況ならびに煙突の設置状態を重点調査項目として、各戸を訪問させていただきました。調査の結果、この地区では九割を越えるお宅が、庭や畑などでゴミ等を焼却処分なさっているとの事でした。焚き火は、町内の主な火災発生の原因の一つにも挙げられております。第六分団管内では、都市部と比較して、焚き火が原因による火災が多いようにも思われます。火を扱う際には細心の注意を払って頂くと共に、環境問題の観点からも、ゴミの処理については、ご一考頂く時期かなとも感じました。



屋外の火の不始末 6
設備の不始末 6
ガスコンロ 3
放火 2
落雷 1
風呂釜の不備 1
調査中 2

屋外の火の不始末 2483
設備の不始末 4306
ガスコンロ 2839
放火 7125
落雷 872
風呂釜の不備 3913
タバコ 4090
調査中 7624
その他

火災から人命財産を守る

有限会社 中谷商工

消火器・火災報知設備・消防用品

辰野町大字樋口1990-12
電話 (0266) 41-2584(代)
FAX (0266) 41-1347

各種新車・中古車販売・修理
車検・点検・損害保険代理店

有限会社 有賀自動車販売

〒399-4601
箕輪町大字中箕輪10800番地61
TEL (0265) 79-9510
FAX (0265) 79-1788

謹賀新年



協賛各社 (50音順)

この広報誌は、協賛各社の御寄付により発行させていただきました

<応急手当が命を救う>

救急法講座⑤ 意識不明者の体位

もし人が倒れたとき、事故のときなど最初にするのは次のとおりです。冷静に行動しましょう。

- ① まわりに危険がないか安全確認
- ② 患者の意識・呼吸・脈・外傷・出血を確認
- ③ 救急車・協力者を要請
- ④ 必要な応急手当を施す。

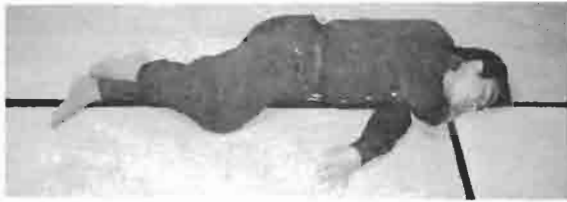
<応急手当について>

○意識不明の処置

呼吸がないなら人工呼吸、脈がないなら心臓マッサージになりますが常に、「気道の確保」を念頭におきます。以下は意識のない場合の体位の参考例です。

例1. 嘔吐があるとき（観察用横向き体位）

気道が開放され、嘔吐したものが自然に口から排出されるなど安全で楽な体位です。



- ① 横向きに寝かせる。
- ② 下あごを前に出して気道を確保する。
- ③ 上になったひざを軽く曲げて前に出し、後ろに倒れないようにする。

例2. 頭部のけが、脳卒中（脳血管障害）のとき



- ① 頭や肩を毛布などで少し上げる。
- ② 顔を横に向け唾液が口から外に出るようにしておく。
- ③ 衣類はゆるめて楽にさせ、保温する。

・気道の確保（異物の除去、心肺蘇生法の実施）

意識がない場合には鼻や口から吸った空気を肺まで通す「気道」がふさがれ呼吸が困難な状態になります。まず第一に気道の確保が大切です。



- ① 手を額に置く。
- ② もう一方の手の人差し指・中指であごを支える。
- ③ あごを上突き出し頭が後ろに傾くようにする。

・倒れた人の運び方（一人で引きずって運ぶ）

倒れた人は安静が原則ですが、危険があったり、応急処置ができない場所では移動させる必要があります。



- ① 患者のわきの下から腕を入れる。
 - ② 患者の手首を握り、もう一方も患者の腕を握る。
 - ③ 後ろに引きずるように運ぶ。
- ※ 二人のときは持ちあげて移動する。

【ちょっと豆知識】

ここで「豆知識」の場を借りて消防ラッパのことを書きたいと思えます。消防ラッパは、吹奏によって号令・命令の指示を与えます。このような事をラッパ吹奏で伝える目的は、山林火災のときなど無線が使えない場合にラッパの吹奏で消防団に号令・命令の指示をするからです。

号令・命令の指示は色々あり、部隊やラッパ手を集めるための吹奏、「放水はじめ」や「放水やめ」などの消防行動を起こすための吹奏があります。

号令・命令の指示は沢山ありますが、吹奏の正否は消防行動に悪影響を与え、ときには人災や消火の遅れなどを引き起こします。このような事が起こらないためにもラッパ隊は月3回の訓練を行ない、正確な吹奏を心掛けていますので今後も温かい目で第6分団ラッパ手の吹奏を聞いてください。しかし自分はまだまだ練習不足で、音を出すのが精一杯ですので、一生懸命練習していい音をだせるようにします。

第6分団ラッパ手 若尾将欣

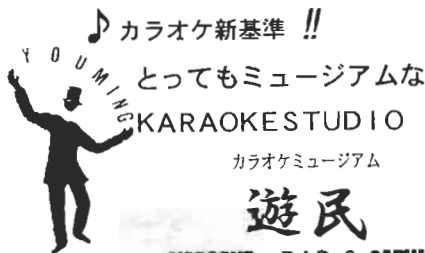
ほたるの里のほっとステーション
お弁当、おにぎり予約注文承ります

たばこ取扱い始めました

ローソン辰野赤羽店

辰野町大字赤羽104-1
TEL(0266)43-3963

年中無休 24時間営業



カラオケ新基準 !!
とってもミュージアムな
KARAOKE STUDIO
カラオケミュージアム
遊民
KARAOKE・BAR & CARWASH
〒399-0422 上伊那郡辰野町平出2053-1
予約専用 0120-43-2066

コイン洗車場併設



楽しい情報や
お知らせが
盛りだくさん

http://www.daily365.net
ヤマザキデイリーストア
辰野樋口店
(斗一屋酒店)
辰野町樋口1048-1 TEL0266-41-0486



1年間の行事

- 1月9日 出初式
- 3月1日～3月7日 全国春の火災予防
- 4月23日 春季訓練
- 7月2日 第38回 町団ポンプ操法大会
- 第22回 町団ラッパ吹奏大会
- 9月1日 町防災訓練
- 11月5日 秋季総合訓練
- 11月9日～11月15日 秋の火災予防運動
- 12月10日 分団模擬火災訓練
- 12月25日～12月31日 年末特別警戒



春季訓練



出初式



ラッパ吹奏



小型ポンプ操法



模擬火災訓練



模擬火災訓練



救急法大会

新入団員募集

消防団員になって辰野町を守ろう

新入団員紹介

渡辺洋之・漆戸 充・矢口祐一・中谷洋平

消防団、第六分団の活動を理解してもらおうとがんばって作りました。何か意見、質問がありましたらお近くの消防団員に声をかけてください。御寄付ならびに御協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。

編集委員
 篠平培生 冲山竹志 瀬戸健太郎 古村高洋
 黒沢克也 堀内晃彦 上原純司 大森博文
 瀬戸雅三 瀬戸 剛 若尾将欣 村上貴彦

編集後記



消防団に入団した事によって、近所の方をはじめ多くの方と知り合うことができました。
 子供の頃一緒に遊んでもらった方、地元の中でも年代の近い方です。
 私は現在二十五歳ですが、この年で学校や職場ではない場所です、同じ地域の人と活動できる機会があり、交流をはかることができる場所は消防団ぐらいいだと思いませんし、その機会はとも大切なことではないかと感じています。
 話には聞いていましたが、操法の期間中は朝も早く大変ではありますが、大会での優勝を目指してがんばることは充実したこともありました。
 まだまだ入団して間もありませんが、自分でできることを考え、消防団を通じて地元貢献できればと考えています。

中谷光浩